

**学校名** 狭山市立西中学校  
**所在地** 狭山市広瀬東3-23-1  
**電話** 04-2953-7617

## 1 本校の概要

本校は、昭和35年に創立。狭山市北西部に位置し、農業地でありながら、大規模住宅団地が校区にあり、生徒数610名という市内でも比較的大規模な中学校である。平成28年から学校司書を配置、翌29年には図書館の電算化を行い、毎年図書館利用者が増えている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・新型コロナウイルス予防に配慮した図書館環境整備
- ・読書に親しむ態度、読書習慣に関わる取組

### (2) 実践の概要

本校の学校図書館は、学校の規模と比較するとスペースが狭いが生徒の利用は多く、昼休みにはたくさんの生徒でにぎわう。そのため、充足率を満たすための配架の工夫や、生徒が利用しやすいような環境づくりを心がけている。令和2年度は特に、新型コロナウイルスの感染予防を考慮した図書館運営を実践した。

#### ア 生徒の昼休みの利用の仕方

新型コロナウイルス感染予防対策を考慮し、入館時の利用者の手指の消毒はもちろん、返却本のアルコール消毒を行い、館内での図書の閲覧を禁止とし、図書の貸出返却のみとした。

#### イ 館内のレイアウトの変更

館内は、椅子を撤去し、入室→返却→借りる本を選ぶ→借り出し手続き→退室と生徒の動線を決めて、生徒の密をできるだけ避けるように配慮した。



#### ウ 図書の平置き

短時間で読みたい本が見つかるよう、POPやコーナーごとに机の上に平置き本を多くした。

#### エ 掲示による図書の紹介



<机にはたくさんのお勧めの本を平置きに>

廊下の掲示板に、季節や話題の図書の紹介を貼りだして、読書意欲が保てるように工夫した。



<図書館廊下の図書紹介コーナー>

#### オ 読書キャンペーン中の貸出期間と冊数の変更

通常一度に3冊1週間の貸出を、10月から12月までは6冊4週間とした。また、図書委員の生徒が中心となり、多読者には特製のしおりをプレゼントするキャンペーンを行った。



<図書委員お勧め本>

<生徒作しおり>

## 3 成果と今後の課題

### ア 成果

このような取組により、生徒は新型コロナウイルス感染予防を心がけながら、学校図書館を利用した。臨時休校等の影響もあり多少減少はしているが、年間の貸出し数は昨年度と大きな変化は見られなかった。

<年度ごと6月から12月までのデータ>

	令和元年度	令和2年度
貸出し冊数	3122冊	2951冊

### イ 今後の課題

年度初めの臨時休校により、新入生の図書館オリエンテーションを行えなかったため、図書館の魅力を十分に伝えられなかった。読書を楽しむ目的だけでなく、学習や進路決定に役立つ利用の仕方を生徒に伝えていく方法を、考え、実行したい。